

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	421 献血事業経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
		細目	239	保健衛生事務経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	02	献血事業経費
担当部署	コード	130900	担当者 氏名	太田 友美
	名称	健康福祉部 健康推進課	連絡先 (内線)	22 - 9653 2713

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	18歳以上の市民	※対象件数
成果(どうする)	医療に必要な血液を安定供給する	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	・献血事業 ・補助金交付先 献血推進協議会 ・活動内容 献血協力者に啓発普及を兼ねて協力謝礼物品等を進呈している。	
	関連事業	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の新設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の新設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
			献血実施回数	回	目標 20 実績 16	目標 20 実績 15

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
				献血者数	人	目標 520 実績 603	目標 520 実績 362

投入 コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	96	96	96	96
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	96	96	96	96
	事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	フルコスト(A)+(B)	816	816	816	816

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	医療が高齢化するなか献血による血液確保は重要である。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	○
効果性	献血者の組織が弱体化し、血液の確保が困難になる。	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
昨年度 の取組状況	【状況】	計画のとおり進んでいない
	【詳細】	行政の献血日程は企業実施分を考慮した上で血液センターで決められるため、回数が減れば献血者数も減ることになるので、1回当たりの人数増を図るための大型小売店舗での実施回数を増やす。
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
今後の方向性(Action)	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	【理由】	協議会運営のため伊賀医師会から寄付金がある。
	【理由】	人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、未だ人工的に造ることが出来ない。さらに血液は生きた細胞で、長期間にわたって保存することも出来ない。輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの献血が必要となるため、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	献血場所により、献血協力者の絶対数が限られているところもあり、1回当たり平均献血者数偏重がある。	
課題、その他に対する改善策	1回当たり平均献血者数を増やすため、1日に数箇所の献血会場を設定する。職員の親睦団体と協力して普及啓発を図る。	
(いつまでに、何を、どうする)		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	改善策	平成24年度までに、1回当たり平均献血者数を増やすため、平成22年度よりも土曜・日曜の設定日を増やす。
昨年度 の取組状況	【状況】	計画のとおり進んでいない
	【詳細】	土曜・日曜の設定日を増やすことはできなかったが、大型小売店舗での啓発活動を実施した。献血日の天候等に左右するところがあった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	入本 理	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、未だ人工的に造ることが出来ない。さらに血液は生きた細胞で、長期間にわたって保存することも出来ない。輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの献血が必要となるため、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	献血場所により、献血協力者の絶対数が限られているところもあり、1回当たり平均献血者数偏重がある。	
課題、その他に対する改善策	1回当たり平均献血者数を増やすため、1日に数箇所の献血会場を設定する。職員の親睦団体と協力して普及啓発を図る。	
(いつまでに、何を、どうする)		